

9 アンケート用紙

平成15年度（第9回）高校生国際協力実体験プログラム

アンケート

学校名： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

1. プログラムの期間はどうか？

- ①長い
- ②ちょうど良い
- ③短い

①及び③と答えた人は、どれくらいの日数がよいか教えて下さい。

[ ]

2. 「自己紹介、アイスブレイキング」はどうか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

3. 「調べてきたこと発表会」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

4. 「ケーススタディ」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

5. 「JICA 事業紹介・国際協カクイズ」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

6. 「研修員との交流食事会」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

7. 「国際協力に携わる人と話そう」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

8. 「世界の食事体験」はどうでしたか？

- ①大変有意義だった
- ②有意義だった
- ③普通
- ④あまり有意義ではなかった
- ⑤得るものは全くなかった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

9. 全体を通して一番有意義だったプログラムは何ですか？  
その理由も教えてください。

[ ]

10. 今回のプログラムに参加して良かったですか？

- ①とても良かった
- ②良かった
- ③普通
- ④あまり良くなかった
- ⑤参加しなければ良かった

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

[ ]

- 1 1. その他何かありましたら、自由に書いて下さい。  
(改善すべきところ、今後やってほしいプログラム等)

[ ]

## 10 アンケート集計結果

### アンケート結果

#### 1. プログラムの期間はどうか?

- |         |    |
|---------|----|
| ①長い     | 1  |
| ②ちょうど良い | 28 |
| ③短い     | 17 |

①及び③と答えた人は、どれくらいの日数がよいか教えて下さい。

##### ① 長い

- ・ 高校生の集中力が持たない部分があったため。日数というよりプログラムを絞って余裕を持たせたり、ケーススタディの休憩を増やすと良い。

##### ② ちょうど良い

- ・ 生徒間同士の交流という点から見ればあと2日はほしいと思うが、各校のスケジュールを考えると3日は精一杯でちょうど良い日数。
- ・ 石川県に帰るので終了は13時頃がいいと思う。
- ・ 1.5日くらいのショートバージョンを7月下旬にして欲しい。
- ・ 夏休みも終わりだと生徒が宿題を気にしているので時期的にもう少し早いとありがたい。

##### ③ 短い

- 3泊4日ぐらい
  - ・ ハードスケジュールすぎる。
  - ・ 交流パーティを1日目にして欲しい。仲良くなったとたんにバイバイはさみしい。
  - ・ 日常の仕事との兼ね合いを考えると適当だが、貴重な機会であり、倍率も高いということを考えるともう1日長くてもいいと思う。
- 4～5日
  - ・ 仲間とふれあい、協力できるように、もう少し長い時間欲しかった。
- 5～6日ぐらい
- 5～7日

#### 2. 「自己紹介、アイスブレイキング」はどうか?

- |               |    |
|---------------|----|
| ①大変有意義だった     | 12 |
| ②有意義だった       | 25 |
| ③普通           | 8  |
| ④あまり有意義ではなかった | 2  |
| ⑤得るものは全くなかった  | 0  |

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ 緊張感もとれてみんなリラックスできてたから。それにみんなの名前も覚えれたから良かった。
- ・ これのおかげで、他校と仲良くなれたのがうれしかった。最後にニックネームを決めたから呼びやすかった。
- ・ どんな人が参加しているのかよくわかったし、「アイスブレイキング」の意味をよく果たしていたように思う。
- ・ 初対面の人との緊張した空気を和らげるのに有意義だったし、4月の新入生、新クラスの授業でも活用させていただきます。
- ・ とても上手に雰囲気作りができて参加者の固さが少しほぐれた感じがした。特徴のある生徒の把握に良い役割でした。
- ・ 面識のない人たちが集まり、これから話し合い等を進めていく上で必要なこと。早い段階で打ち解けることができていたと思う。
- ・ 過去にもやったことがありましたが、テンポの良さ、司会者からのフィードバックも積極的で生徒が楽しんでいたと思う。
- ・ うちとける機会というのがあまりないのでとても助かった。
- ・ 僕はとても恥ずかしがりやなので話しかけるのが不安だったけど、それを少しでも解消できたから。

② 有意義だった

- ・ まずは大変緊張している状態を解きほぐすのには有意義だった。
- ・ 参加人数が40人なのでグループ同士の他人紹介などで全員の名前が一通り確認できると良いと思う。
- ・ 他県の人や学年が離れている人とも仲良くなった。いろんな人と話せた。
- ・ 自己紹介のあり方としては是非必要なこと。
- ・ 心が開けた。
- ・ 声をかけるっていうのはちょっときつかった。
- ・ 名前をすぐ覚えられた。
- ・ いつもどおりの自己紹介じゃなかったから楽しかった。
- ・ ただ、流れとしてアイスブレイキング後にケーススタディという構成のほうが良かったと思う。
- ・ せっかく良い名札を作ったので3日間ともつけるように徹底して欲しかった。

③ 普通

- ・ 楽しかったが、相手に質問することがあまりでてこなかった。
- ・ もうちょっと親しみやすいよく知られているゲームをやってもいいと思った。
- ・ 全員の前で自己紹介するほうがよかった気がする。グループで分かれてしまうので他の人とも紹介し合えるとよかった。ゲーム自体はすごく楽しかった。時間が短くてたくさんの人達と話すことができなくて残念。できれ



ば全員と話してみたかった。でも楽しくて「アイスブレイキング」できた。

④ あまり有意義でなかった

- ・ 子どもっぽすぎる。普通に個人の事を紹介すればいいと思う。
- ・ 時間が短かったのであまり色々な人と話をする時間がなかった。

3. 「調べてきたこと発表会」はどうでしたか？

①大変有意義だった	18
②有意義だった	23
③普通	5
④あまり有意義ではなかった	0
⑤得るものは全くなかった	0

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ どの学校もすごくよく調べてきており、より知識や関心が増したと思う。他校が調べた内容も知れて、いろんな知識が増え、とても勉強になったと思う。プレゼンテーションをすることも、いい機会になった。
- ・ 原稿を見たまま相手を見ない発表者がいましたが、もう少しプレゼンの仕方も考えられたらもっとよかった。
- ・ 先生方がほめてくれた。
- ・ 内容だけでなく発表のやり方が見ている他校の人達にも新たな発見になった。質問も活発に出て、高校生の持っている力に驚かされた。
- ・ 質問の時間があってもっと考えを深める事ができたし、いろんな考えがあるとわかった。
- ・ みんなの頑張りがよく伝わった。自分たちも頑張ったから少しでも多くの人々が知識として理解してくれたらうれしい。
- ・ 英語でやった所がすごくよかった（言った事はわからない）ジェンダーやAIDSなどあまり知らないことについて学べた。
- ・ 今まで「ジェンダー」の事なんて全然知らなかったけど、発表会で詳しく聞いてとても興味がわいた。
- ・ パワーポイントが可なら事前に連絡して欲しかった。
- ・ 同じテーマを2校が調べることになっていて、どうしても比べてしまうので、8校分8個のテーマが欲しかった。
- ・ 同じことを調べても内容が違い、自分のためになった。
- ・ 生徒は自分の視点で自分の調べてきたことを自分の意見を持ちながら発表したので良かった。また事前学習というスタイルも導入としてとてもよかったと思う。各学校の様子を知る上でも有意義であった。
- ・ 生徒が自主的に調べまとめるといった作業をする姿を見て感動した。普段

見られない姿勢を引き出していただけた点と他の学校の様子も知れた点がよかった。また、テーマが絞られていて多少の知識を得てからケーススタディへ入る流れがよかった。生徒はそのおかげで深く考えられたのではないのでしょうか。

- ・ それぞれの項目に対する知識を深めるのにももちろん役立ったが、発表方法も参考になった。この内容が次のケーススタディにうまくつながっていた。

## ② 有意義だった

- ・ 高校生は数字とかの統計データも調べており発表内容もまとまっていた。まだ同学年の生徒を巻き込んでの取り組みも参加者以外の協力もあり、ありがたかった。
- ・ 今まで誤解していたことが間違いだと分かって良かった。
- ・ 自分たちと同じ項目でも新たな発見があったりしたし、違う項目のところは聞いていて興味深いものがあった。
- ・ しっかり調べたこと発表して満足感があった。クラスにアンケートを取る工夫もしてよかった。
- ・ アンケートをとってきたところはすごいと思った。
- ・ いろんな学校がいろんな観点から見て考えていることがわかって良かった。
- ・ 各校の特色が出ていること、又、全員の顔合わせができてよかった。
- ・ 事前の学習で、とても時間を使ったので、もう少しその学習を活かす場が欲しかった。英語でのプレゼンは感激した。
- ・ このプログラムに参加するためにしてきた事前学習をみんなの前で発表し、みんなで共有することができ、後のケーススタディにもつながったのではないかと思う。
- ・ 一校すごいのがあったので感心してしまった。
- ・ 生徒の積極的な姿勢をみて学校での勉強、授業のプラスになりそう。
- ・ 思った以上に各校の出来が良くおどろいた。その分情報量が多すぎて生徒は疲れたのではないかと思った。
- ・ みんなの発表はきれいだし、わかりやすいし、すごかった。

## ③ 普通

- ・ ぱっとしなかったので眠かった。皆すばらしい発表だった。
- ・ 発表自体は良かったが他のプログラムとのつながりが薄いので、全体のプログラム中での位置づけがよくわからない。

## 4. 「ケーススタディ」はどうでしたか？

①大変有意義だった	28
②有意義だった	16
③普通	3

④あまり有意義ではなかった 0

⑤得るものは全くなかった 0

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ 実体験に基づく文章を読んで自然に問題点を考えさせていくという手法で生徒は生き生きと活動していました。先が読めない、正解がない、評価をされるわけでもない分話し合いがしやすかったのではないかと思います。
- ・ ワークショップなれしていない生徒たちの反応を見ることができた。
- ・ 参加型学習というものはじめてみたが、思っていたより活発に意見がでていておどろいた。イメージを膨らませて考えるには難しい内容だったのではと思ったが、高校生の意見はとても新鮮だった。
- ・ 生徒の自主性を促し考える力を養うという意味でとても有意義だったと思うが、うまくひとつのラインに乗らされて、あらかじめ予想可能な結論に導かれていったという感じはある。現実には直面する難問、苦悩はまた別の角度からの取り上げ方になるのだろう。
- ・ 事前学習と絡めてあり、大変よく考えてあると思った。
- ・ ファシリテーターが上手に生徒を導いてくれた。また、生徒が自ら考え、話し合い、さらに発表までを行ったことは普段の学校ではないものである。このようなノウハウは今後教員にも十分役に立つものである。
- ・ 皆本当に真剣に考えて意見を出したので自分の考えだけでは足りなかった事を補え、「こんな考え方もあるんだな」という発見もあった。また、たくさん時間を使って皆と話し合える機会は少ないと思った。
- ・ 紙に書く回数が多かった。
- ・ 国際協力について理解が深まった。また自分でできることはないかと考えるようになった。
- ・ 今の途上国の状態を知ることではかなり分かりやすかったし、楽しかった。
- ・ 普段考えたことのないことをいろんな人と話し合えて勉強になった。
- ・ 知らない子達と一緒に話すことができ新鮮だった。刺激にもなった。自分の周りにはいないような子が多くて驚いた。
- ・ 自分の意見をまとめ発表する事をみんなですべてたのしかった。
- ・ 2日間を通して同じグループ内の人達と仲良くなれたのがうれしかった。
- ・ 学校では習わない世界の問題についてそれぞれ考えれて自分の意見を持てたと思うし、他の子たちの意見や考えも知れてよかったと思う。楽しかった。
- ・ 先生班を作ったのがよかった。先生よりも生徒たちのほうが立派な発表が多く、たのしかった。
- ・ 自分が考えない発想がでて面白いと思った。先生側は先生という立場から、

普段生徒がそこまで考えを聞けないことも聞けて生徒たちの刺激になったと思う。逆もしかり。

② 有意義だった

- ・ タイの山岳民族について色々を知ることができて協力隊の人の役目も少しわかった。
- ・ 森林問題は話が大きすぎた気がしました。なくなったらというのはやりすぎかと思います。いろいろな人と交流できてよかったです。
- ・ 自らの身近な事柄に置き換えて自ら考えるという取り組みができ、有意義な手法であった。
- ・ 世界について知れただけでなく、グループで物事を進める難しさなどもよくわかったからよい経験になった。
- ・ 自分たちで考えることはとても大事だと思う。でもハードでした。
- ・ 色々な意見が聞けてよかった。
- ・ 学校でもあのスタイルをとったらもっと自分の意見を発表する人が増えると思う。
- ・ 生徒同様に自分が楽しむことができた。時間の余裕の大切さも知った。
- ・ グループごとに発表する人が決まっていたり、何も発言しない子がいたのは残念でした。

③ 普通

- ・ 学校ではグループで話し合ったり、それをすぐ発表するという機会はまったくないので、とてもよい経験になった。

5. 「JICA 事業紹介・国際協力クイズ」はどうでしたか？

- |               |    |
|---------------|----|
| ①大変有意義だった     | 9  |
| ②有意義だった       | 26 |
| ③普通           | 8  |
| ④あまり有意義ではなかった | 2  |
| ⑤得るものは全くなかった  | 1  |

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ グループの人数が4人なので話がしやすかった。クイズも日本では以外な答がたくさんあって楽しかった。
- ・ 身体を動かし学ぶというのは後の集中力という意味でも不可欠なことだと思う。
- ・ 参加する前から楽しみにしていた民族衣装試着の夢が叶った。みんなが着れて集合写真とか撮ったらおもしろいと思う。

② 有意義だった

- ・ スケジュールの変化を生み、よかった。時間がおせおせの面が生じた。
- ・ 日本の国際協力の状態や現状が紹介ビデオで分かたりして勉強になった。
- ・ 時間があればもっと多くクイズをやってほしかった。
- ・ クイズだけど新しい発見があって楽しくできた。豆知識が増えた。
- ・ クイズとその解説をいただくと他のところでも活用できます。
- ・ クイズになっていると覚えやすかった。
- ・ 三択になっていたので答えやすくてよかった。
- ・ 民族衣装を喜んで着ている様でよかった。事業紹介はすんなりしていてもうひとつインパクトがあるといいなと思った。
- ・ J I C A 紹介は今回のプログラムに終わらず、今後や卒業後につながるのではないかと思った。クイズは民族衣装というレアなチャンスで生徒は生き生きとしていた。
- ・ もっとたくさん正解して、民族衣装を着たかった。
- ・ クイズができたのはいいけど、民族衣装を着るのが嫌だった。
- ・ 民族衣装が着れて大変嬉しかった。
- ・ 大変たのしかった。生徒たちの柔軟な発想に驚かされた。

③ 普通

- ・ 同じグループの人が自分以外はみんな同じ学校の人で入り込めなかった。
- ・ 1つのアクセントとしてよかった。
- ・ 事業紹介、チーム分けはよかったが、クイズの内容をもっと身近なものにして欲しかった。
- ・ もともと自分の知識でわかる、わからないクイズだったから、もっとプログラムに入ってからについてのクイズだったらよかった。

④ あまり有意義でなかった

- ・ クイズの内容はあまりおもしろくなかった。そこへ旅行に行ったり研修に行った人でないとわからない問題があった。高校生レベルの問題にして欲しかった。
- ・ 民族衣装が着たかった。

⑤ 有意義でなかった

- ・ J I C A 事業紹介のビデオは学校で一度見ていた。クイズは詳しい人についていけばよかった。もうちょっと自分たちで考えるような感じのクイズにしたほうがいいと思う。

6. 「研修員との交流食事会」はどうでしたか？

- |            |    |
|------------|----|
| ① 大変有意義だった | 29 |
| ② 有意義だった   | 12 |

- |               |   |
|---------------|---|
| ③普通           | 4 |
| ④あまり有意義ではなかった | 0 |
| ⑤得るものは全くなかった  | 0 |

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ たくさんの研修員との出会い、お話できて、友達になれうれしかった。話しているといろいろ励ましてくれたり、私にパワーをくれた。
- ・ 高校生は積極的にクイズのためもあるのか、研修員と接していた。
- ・ ワールドビンゴのアイデアがとてもよかった。
- ・ ゲームによって問いかけるチャンスをつくってもらったのはよかったが、もう少しじっくり話をしたい気持ちが残った。
- ・ 外国の方は皆気さくで親切、明るくノリノリでした。スペイン語もまあまあ伝わってよかった。
- ・ 英語は大の苦手だから研修員の人と話なんてできないし、どうしたらいいかわかんなくなりそうと思ったけど、日本語しゃべってくれたりしてすごくやさしかったし、外国の人とこんなに接する事なんてめったにないからとても有意義だった。
- ・ もう少し英語が話せたら、と思った。話せなくて悔しかった。
- ・ あまり他国の人との交流がないのでとても楽しかった。もう少し長くやりたかった。
- ・ あんなにたくさんの外国の人と話したことがなかったのでよかった。しかし料理は苦手だった。
- ・ ペアを組んでビンゴゲームをするのはとても良かった。
- ・ めちゃ楽しかった。料理もおいしかった。なにより民族衣装着てよかった。
- ・ 色々な国の食事が食べれてよかった。クセのない味にしてあった食べやすかった。
- ・ 生徒の一芸も盛り上がったと思う。

② 有意義だった

- ・ 英語でしゃべる機会なんてほとんどないのでとても有意義だったが、内容が少し難しかった気もした。
- ・ 生徒が理解できるくらいの内容の英語の司会がよかった。また、ビンゴを前半にやったほうが後半研修員との話が盛り上がるのでは？
- ・ 5つの質問事項は、はりだすのではなく、プリントして配った方がよかったのでは。よくわかっていない生徒もたくさんいた。(研修員に対しても同様)説明を聞いていた生徒は研修員と話していたがそうでない生徒は話していなかったように見られる。
- ・ 外国の人と話せたのが感謝。もっとゆっくり食事ができたらいいと思う。

- ・ もう少し広い場所で、長い時間やってほしかった。
- ・ できれば座ってゆっくりと日本語で話したかった。自由に動けるのもよかったと思います。

③ 普通

- ・ ゲームは楽しかったですが、その後ゆっくりと話をしてさらに知り合える時間が欲しかった。
- ・ 生徒たちも英語の質問をたくさん用意していたので、自由に話をする時間ももっと欲しかった。研修員の協力が得られれば、昼食の時間に必ず一人の人と同席して話をするような課題を与えていただくのもよいのでは。

7. 「国際協力に携わる人と話そう」はどうでしたか？

①大変有意義だった	11
②有意義だった	26
③普通	7
④あまり有意義ではなかった	2
⑤得るものは全くなかった	0

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②ー④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ 高校生の身近にも国際協力を考え、取組める事柄があるのに気づくチャンスとしてよかった。
- ・ 遠くにあると思っていた国際協力が身近にもあるという話が印象的でした。
- ・ 身近なことを伝えていく一歩が大事だとおもった。
- ・ 自分も外国にいて働きかけられたら、仕事ができたらいいな、と思った。
- ・ 以前から国際協力やその団体に興味があったのですがお話を聞いたことですごく勇気付けられた部分や新しく知った事があったので、もっともっと時間が欲しいくらいだった。本当に感謝しています。
- ・ 「神の子」の「I CAN」の龍田さんとお話できたのがとても嬉しかった。

② 有意義だった

- ・ I CANという団体が発足は個人だったのにあそこまで成長するなんて驚きました。それだけいろいろな人が興味を持っているという事実を実感しました。
- ・ いろんな場所でいろんな機関がどうゆう働きをしているかということがわかってとてもよかった。いろんな視点等があるということを確認できた。
- ・ 「カメハメハ」の歌に出てくるような国が本当にあるなんてびっくりした。
- ・ 全体で1.5時間で3講座は時間不足でもったいない。2講座にするか2時

間にすべき。

- ・ 国際協力に携わるということは大変なことだらけだと分かった。
- ・ 生徒からあまり質問がでなかったのが残念。
- ・ もう少し時間があればより深く話し合えたり質疑応答もより多くできたのではないかと思う。それぞれの土地固有の食べ物などはとてもよかったと思う。

③ 普通

- ・ 写真・ビデオ・パンなどをつかって分かりやすかった。

④ あまり有意義でなかった

- ・ お話ばかりで眠くなった。
- ・ 話そうではなく、聞こうになっていた。3つから1つ選択にすればいいのでは。

8. 「世界の食事体験」はどうでしたか？

①大変有意義だった	16
②有意義だった	19
③普通	9
④あまり有意義ではなかった	1
⑤得るものは全くなかった	0

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① 大変有意義だった

- ・ すごくおいしかったし、日本で食べれないものを食べれたことは子供たちにとってとてもいい経験になったと思う。
- ・ 写真をまじえてのブラジルの説明の後の食事というのは興味を持って食べることができ、良かった。説明資料やレシピがもらえると学校や家庭で利用できるのも、さらに良いのだけど、と思った。
- ・ ふだん食べれない変わった味で、不思議な味だったけど、おいしかった。
- ・ ブラジル料理最高！独特の味付けだけど、口にあっていた。
- ・ 参加メンバーとの交流食事会となったのでよかった。

② 有意義だった

- ・ 予算もかかることでしょうから、この行事がなくなってケーススタディだけでもよいので、より多くの子に参加のチャンスを与えられれば、と思います。また、食事と交流は別にした方がもっとゆっくり話ができ良かったかも。



- ・ 味は別として、よい体験だった。カルチャーショック。
- ・ 他の国のものも食べてみたいと思った。
- ・ 他国の人の食生活を知ることが文化を知る上ですごく大事だと思うし、なによりおいしかった。「食」という視点での国際理解は楽しく感じられる。

③ 普通

- ・ ブラジル料理は日本で食べれるので食べるチャンスが少ない国の料理が食べたかった。半分くらいの人が食べれないようなものなど。
- ・ ブラジルの料理ははっきり言って口に合いませんでした。日本はとても食べ物おいしい国だと改めて実感しました。外国では暮らせないと思った。
- ・ あまりおなかが減ってなかったので2日目にしてくれると嬉しい。

④ 僕は郷土料理が苦手なのでちょっとつらかった。

9. 全体を通して一番有意義だったプログラムは何ですか？

その理由も教えて下さい。

○ 発表会 . . . . . 5

- ・ 各校それぞれがこんなに調べてきたんだと感心した。これをきっかけに自分が知らない他の問題にも目が向くと思った。
- ・ 決められたいくつかのテーマを学校ごとに調べてくる事によって、学校のスタイルも分かったし、何よりも「ジェンダー」ということについて学ぶことができた。
- ・ 初日で元気があり、活発な討論ができていたと思う。そこから一步踏み込んだことができたらもっといいと思った。

○ 映画鑑賞 . . . . . 1

- ・ 僕たちの生活ででたゴミの中で生活している人がいるなんて初めて知った。

○ ケーススタディ . . . . . 2 2

- ・ 自ら考え思うテーマに取組みまとめて発表する力を得られている。生徒も積極的に考えていた。受身なセミナー等よりは個人の中に濃く残るのだと思う。課題の設定も高校生に合っていた。
- ・ すべての子がそれぞれ世界の問題について考えれたし、他の子達の意見も知れてよかったと思う。何より能動的に考えたり書いたりしたことがよかった。
- ・ 一番刺激を受けました。人前で発言することの練習になった。
- ・ 他校の友達と一緒に考えておもしろい意見、まじめな意見がでて楽しかった。時間がたつうちに、班にまとまりがうまれた。
- ・ 途上国の問題を自分の問題としてじっくり考えることができたと思う。
- ・ 知らない子と色々な意見を出して話し合えたから。
- ・ 学校では学ぶことのできないことを学ぶことができてよかった。
- ・ 普段から「環境」や「ジェンダー」などについて討論したりする機会が少

ないので、問題について考えることは日本以外の文化や思想を知るのにすごくいいものだと思います。

- ・ みんなで何かをやるということがすごく好き。ずっとケーススタディでもいいくらい。
- ・ 協力隊模擬体験をとおして、問題解決の手法を知ることができ有意義だった。また、開発、援助を考えると、多くの要素が絡み合っており、解決の難しさも伝わったのではないのでしょうか。
- ・ ヘボな教員班に比べ、すばらしい発表が生徒たちに見受けられ、とても有意義だった。

○ 研修員との交流食事会・・・ 20

- ・ 世界のいろいろな人と話せるめったにない機会であり、暖かく向かえてくれたし、楽しかった。いろんな考え方の人がいて私も考えさせられることがあった。
- ・ 初めて外国の人と会話した。その機会を与えてくれたことに感謝です。
- ・ 色々な国に直に触れた気がする。
- ・ 私は英語が苦手なのですが、単語だけで通じたことが嬉しかった。これからはもっと英語をがんばって会話ができるようにしたい。
- ・ 世界の色々な料理がほとんど初めてのものばかりで、食べれるか心配だったけど、すごくおいしかった。色々な国の人と交流できて最高でした。
- ・ 自分から積極的に英語で話せたし、研修員の方はフレンドリーな人たちばかりで自分たちの国について説明もしてくれた。

○ 国際協力に携わる人と話そう・・・ 3

- ・ 一番学ぶことが多かった。BESTプログラムです。
- ・ 生の話を聞いてよかった。
- ・ 実際の取り組み、体験、今活動していることなど話の内容が充実していた。

10. 今回のプログラムに参加して良かったですか？

- |              |    |
|--------------|----|
| ①とても良かった     | 43 |
| ②良かった        | 4  |
| ③普通          | 0  |
| ④あまり良くなかった   | 0  |
| ⑤参加しなければ良かった | 0  |

①及び⑤と答えた人はその理由を教えてください。②～④と答えた人もコメントがあれば書いて下さい。

① とても良かった

- ・ こんな体験は他にない！！すばらしい！！
- ・ いままで世界に目を向けていなかったが、今回私でも何か力になれる事が

あるんだなあと感じた。もっと国際協力について知りたくなった。私はボランティアを2年やっているのだから世界でボランティアをやっている人はすごいなあと思った。

- ・はじめはスタッフとして参加しようという姿勢でいたのに自分も高校生と一緒にたくさんのことを学べた。自分なら思いつかないような考えも知れたし、新しい知識も増え、とても充実した3日間でした。
- ・違う学校の高校生、研修員の方々、JICA職員の方など、いい出会いができました。
- ・普段体験できないことを体験するのはとても素晴らしいことだと思う。たくさんの人と交流できて本当によかった。これからはいろいろな参加したい。
- ・色々な要素が濃縮された3日間だと思う。考えることあり、発表することあり、学ぶことありで総合的に学習できる場だったはずだ。
- ・とても濃い3日間だった。もっと英語が話せるようになりたい。
- ・こんな楽しいとは思わなかった。また来たい。すごく有意義でした。
- ・学校の授業もこれくらい楽しかったらいいな。
- ・高校生最後のいい思い出になった。この体験は将来の自分の進路を考える上で、とても役に立つことでした。
- ・国際協力について興味がわいた。僕もなにか職を身につけたら、青年海外協力隊へ希望したいと思った。
- ・初めてのことが多く、全てに対して改めて考えさせられたり、学ぶことができた。
- ・正直、国際協力について日頃、よく考えていませんでしたが、課題や体験プログラムを通して、国際協力について考えていきたいと思った。
- ・初めはとても不安だったけど、徐々に慣れてきて2日目から帰りたくないくらいでした。1つのことをみんなで考えたりしたのも楽しかった。
- ・色々な子がこんなことを考えてるんだ、とわかったし、自分にプラスになることが多かった。
- ・自分の考えを主張し、相手の考えを吸収できるのは素晴らしいと思う。
- ・今まで知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になった。
- ・JICAの具体的な取り組みがよくわかった。実際に様々な場面で取り組んでいらっしゃる人たちと話し合うことができてよかった。
- ・他校の先生方との意見交換ができたことやJICA職員の方々の元気を貰えたような気がしていることが、大きな収穫でした。また折々の所長さんのコメントのすばらしさ、質の高さ、適切さには舌をまきました。日本を外から観て等身大の自分を写す鏡がJICAだと思った。
- ・自分自身日常刺激のない生活だったが、少し生徒への指導方法も変革できるかも？
- ・生徒たちの学校ではみせない一面をみることができ、生徒だけでなく教員も有意義な体験ができ、みなさんと交流できたことが貴重な思い出であり、これからの自分に役立つと思う。今後も多くの学校が参加できるよう、こ

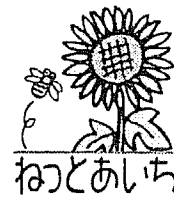
の企画を成長発展させて欲しい。

1 1. その他何かありましたら、自由に書いて下さい。

(改善すべきところ、今後やってほしいプログラム等)

- ・ 期間が短い
- ・ もう少しゆとりを持って時間配分をしてもいいと思った。
- ・ 休憩が少ない。また、10分でなく15分は取って欲しい。
- ・ 外食時間（1時間）が短い。
- ・ 交流食事会の食事の10分はきつかった。あまり食べられなかった。
- ・ 食事から食事への時間が短い。
- ・ 友達作りのための雑談時間が欲しい。
- ・ もっと研修員の人と話がしたかった。
- ・ もう少し時間があったら、ケーススタディのテーマを自分たちでネットなどを使い、選んで調べたらもっとよかったかもしれない。
- ・ 2日目夜の引率教員とJICA職員との交流はケーススタディの時間の一部と並行してでも2時間くらいは確保して欲しかった。夜の疲れている時間でお互いに時間を気にしながら十分交流できなかつた。
- ・ NGOの方の発表時間をもう少し増やして欲しかった。
- ・ この企画の報告書を県教育委員会、各校校長に配布してほしい。もっと教育委員会やマスコミ（TV／新聞等）を活用すべきだと思う。PR不足。
- ・ 3日間の様子を撮ったビデオを授業時間で見れるよう、40～50分に編集して参加校に配布してくれるよう、強くお願いします。
- ・ 恥ずかしがりやの子も含め全員に発表の機会が与えられるととっても良い。
- ・ 開発という点からだけでなく、「人間として同じである」「水平な立場で付き合う」という点をもっともっと生徒に強調して欲しいと思った。
- ・ 生徒を見る時間も欲しいと思った。
- ・ 映画鑑賞で前が見えなかつた。
- ・ 映画の時間が長すぎ。
- ・ 交流食事会のような外国人との交流機会を増やして欲しい。
- ・ 料理教室とか民族衣装づくりとか体験できるようなものがあればいい。
- ・ ワークショップでは前もって共有する知識の確認が欲しい。答えを与えるのはよくないが、大人の側が何を大切だと考えて実行しているのかを前もって伝えたほうが、参加しやすい。課題となるものはどれも遠大であり、各校の独自のものに頼るのは不安である。また、財政面でのデータが欲しい。
- ・ ワークショップが多いと学校で活用できていい。教員用のティーチングプランのようなものがあれば大変うれしい。
- ・ 1泊2日ぐらいのプログラムのケーススタディをできればお願いします。

- ・ J I C A職員さん方との懇親会のようなものがあればもっと親しくなれるような気がします。
- ・ 高校生が参加して大学の推薦入学の添付資料になるようなものを発行していただくと助かります。
- ・ スタッフの方々良く準備されてて感心した。海外で経験された人々がその国を好きになって帰国されているのがうれしかった。
- ・ プログラムだけでなく、施設のきれいさ、素晴らしさに感動しました。周りにたくさん家があるところにこのような施設が身近にあってすぐに戸をたたける点も本当に素晴らしいと思った。ただ、最近起きている北朝鮮問題や、テロなどの問題について、皆や職員の方はどう考えているのか知りたかったので、話し合う機会があると良かったと思う。
- ・ 職員の方もグループに関わってよいのではないかと思った。また、個人的に興味のある人と深く話をする場を作ったらいいと思います。



高校生が「世界」討議

国際社会が抱える様々な問題について、高校生が発表したり、討議したりする「国際協力実体験プログラム」が、名古屋市名東区の国際協力事業団中部国際センターで、27日まで2泊3日の予定で催されている。

9年目で、今回のテーマは「世界の教育、エイズ、環境、ジェンダー」。参加したのは愛知工業、東海商業、大成など中部地方の8校の約40人。初日の25日は、それぞれのテーマで調べてきたことを、図や映像を使って発表した。写真。このほか、高校生らは同センターに滞在している約20



力国40人の研修員との交流会、民族衣装の試着会、国際協力クイズなどを楽しんだ。

2003. 8. 28

(地方)

合宿を通じて  
国際協力を学習

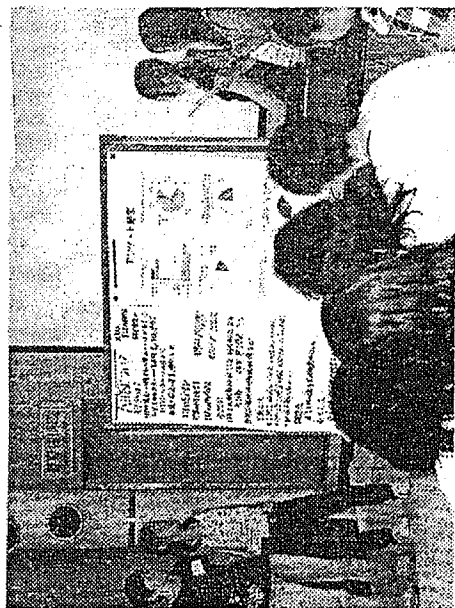
125 東海北陸地区  
8高校の生徒参加

高校生が2泊3日の合宿を通じて交流し、国際協力について学ぶ高校生国際協力体験プログラムが27日まで、名古屋市の国際協力事業団（JICA）中部国際センターで行われた。東海北陸地区の8高校の生徒と教師約40人が参加し、名古屋などでの習得技術を学んでいる各国の研修員とも交流した。

このプログラムは毎年開催されており、今回は長渕3県から愛知大、東海商大、大成、美濃、豊田農林のら校

が参加した。初日は、中部国際センターの萩原久義所長が「自分の考えや思いを率直にぶつけてください」とあいさつ。続いて研究発表に移り、生徒たちは「環境」「エイズ」「ジェンダー」「教育」といったテーマについて「森林伐採は地球温暖化に影響しており、環境問題は経済問題につながっている」「エイズは一人一人の心がけで防げる」などと発表。活発な質疑応答があった。

【木村文彦】



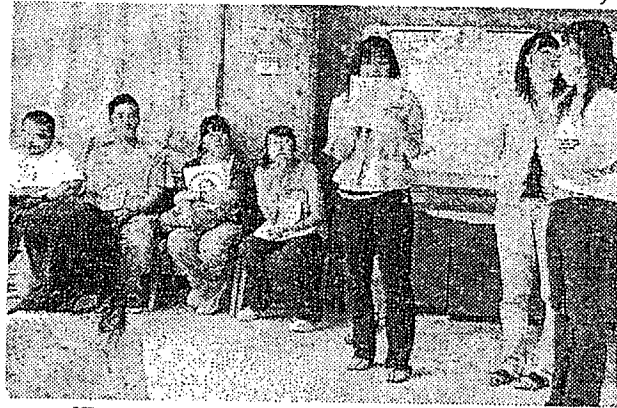
各テーマごとに調べてきたことを発表する生徒たち

2003. 8. 26

(地 方)

# 国際協力 高校生が体験合宿

世界のさまざまな文化を  
理解しようと、二十五日、  
「第九回高校生国際協力実



調べてきた事例について発表する生徒たち

体験プログラム」が、名東  
区亀の井の国際協力事業団  
(JICA) 中部国際セン

ターで始まった。東海、北  
陸の六県から八校の高校生  
が参加し、発展途上国の教  
育などをテーマに発表し  
た。JICAの主催で、二  
泊三日の合宿セミナーを  
実施する。

一日目は、教育などにつ  
いて生徒が調べてきた事例  
を報告した。奴隷問題につ  
いて英語で発表した富山国  
際大付属高の岡島あゆみさ  
ん(二年)は「奴隷問題に  
ついて正しい認識を得る  
のが教育だと思っ」と話し  
た。

二日目は、外国人研修  
員との食事会などが予定さ  
れている。二十七日まで。



2003年(平成15年)8月27日(水曜日) 市【県内】 [18]

エイズや環境  
合宿して学ぶ

県内などの高校生が  
中部、北陸の高校生が  
国際理解や国際協力を学

ぶ合宿セミナー「第九回  
高校生国際協力実体験プ  
ログラム」が、名古屋市  
名東区の国際協力事業団  
(JICA)中部国際セ  
ンターで開かれている。

二十七日まで、「世界  
の教育、エイズ、環境、  
ジェンダー」をテーマ  
に、勉強会や討論会、外  
国人研修生との交流会を  
行っている。

参加したのは、愛知工  
業高など県内の三校と岐  
阜、三重、静岡、石川、  
富山各県一校の計八校の  
教師と生徒計四十人。各  
校がそれぞれ割り当てら  
れたテーマに沿って調べ  
てきたことを発表。

環境について調べた金  
沢辰巳丘高は、地球温暖  
化による海面上昇や砂漠  
化、酸性雨といった問題  
は、主に先進国が生みだ  
しているのに被害は世界  
中の国が被っている現状  
を説明。「加害者の私た  
ちが現状を知り、国際的  
に協力して少しずつ改善

するしかない」と解決方  
法を提示した。

エイズについて発表し  
た東海商業高は、身近な  
友人にエイズ感染の恐怖  
を現実的な問題ととらえ  
ている人がいることを報  
告。その上で「感染者が  
堂々と世間に周知できる  
よう差別をなくしてい  
くべきだ」などと話した。

生の体験聞く

『本物の授業』

山本 智彦 高校 教師 43

(名古屋市緑区)

国際協力事業団(JICA)中部国際センター主催で八月下旬に開かれた「高校生国際協力実践プログラム」に生徒四人とともに参加した。二泊三日の日程で、中部・北陸地区から八校の高校生が集まり、全体では引率教諭を含めて四十人が

ワークショップやケーススタディーを通じて発展途上国問題を考えた。

また、学校の平常授業ではなかなか体験できない青年海外協力隊経験者、JICA職員、非政府組織(NGO)関係者、途上国からの研修生などとの交流で途上国の実態を直接聞くことができ、国際社会が抱える問

題を考える良い機会になった。

参加した生徒たちは積極的に各課題に取り組み、日ごろの授業では見せないすてきな顔をしていた。教師としては実践の伴う「本物の授業」に学ぶべきところが多かった。

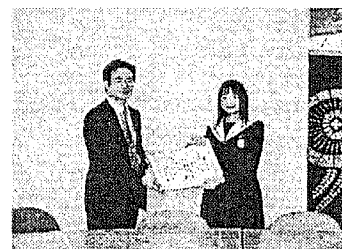
# JICA 中部が実施する国際理解教育・開発教育支援事業について

独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA 中部）は、開発途上国への政府援助（ODA）の実施機関として、青年海外協力隊やシニア海外ボランティア、技術協力専門家等の派遣、開発途上国からの技術研修員の受入などを実施している JICA の中部地区における拠点です。当センターでは以下のような国際理解教育・開発教育の支援事業を行っています。

## ■■■学校の現場で活用できるプログラム■■■

### ♪中学生・高校生エッセイコンテスト ～エッセイを書いて国際協力を考えてみよう！～

JICA では毎年中学生・高校生を対象にエッセイコンテストを開催しています。国際社会の中で日本は何をすべきか、また、私たち一人一人がどう行動すべきかなどについて考えてもらうことを目的として、国際協力に関するエッセイコンテストを毎年開催しています。上位入賞者には海外旅行のプレゼントがあり、その他にも各種賞を用意しています。



賞状を渡される受賞者

テーマ：開発途上国や国際協力について考えていること

枚数：中学生－400 字詰め原稿用紙 3 枚以内（B4 サイズ）

高校生－400 字詰め原稿用紙 4 枚以内（A4 サイズ）

募集期間：5 月～9 月（平成 15 年度）

特選・準特選・審査員特別賞、優秀賞受賞者には副賞として海外旅行（平成 15 年度 フィリピン、中国、ベトナム等）

### ♪JICA 国際協力出前講座



みんなで民族衣装を試着！

「JICA 国際協力出前講座」とは、青年海外協力隊の OB・OG や JICA 職員などの国際協力の経験者が講師として、学校などに伺い、現地での活動体験やそれに基づいた国際協力についてなどを講演します。国際協力の現場を実際に体験した人のお話を聞くので、とても楽しいものです。また、JICA 中部に滞在して様々な分野で研修を受けている開発途上国からの研修員もあなたの学校に伺います。

講師：青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの経験者・JICA 中部に滞在している研修員・JICA 職員など

講演テーマ：開発途上国の文化や人々、国際協力、青年海外協力隊・JICA の仕事についてなど

JICA 国際協力出前講座のホームページには各学校を訪れたエピソードが掲載されています！

<http://www.jica.go.jp/branch/cbic/jigyo/kaihatsu/index.html>

JICA 国際協力出前講座のお申し込み・お問い合わせは各県の国際協力推進員にお尋ね下さい。

## ■■■学校の先生方を対象としたプログラム■■■

### ♪小学校・中学校・高校教師海外研修

JICA では小学校・中学校・高校の先生方を対象に、開発途上国における国際協力の現場を知っていただくために海外研修旅行を行っています。この研修は、学校の先生方に開発途上国の現状と JICA 事業を始めとした国際協力への理解を深めていただく機会を設けることにより、次の世代を担う人材を育てる先生方の実践に役立てていただくことを目的としています。

実施時期・期間：夏休みに約 10 日間程度（平成 15 年度）

参加資格：授業・又はクラブ活動などで国際理解教育・開発教育を実践されている先生

派遣国：小学校教師－ベトナム、中学校教師－ラオス、高校教師－ケニア

（平成 15 年度）



協力隊員の紹介により家庭訪問！

## ♪教師対象講座(開発教育実践講座、開発教育指導者研修)



国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員、自治体職員、NGO・NPO職員、青年海外協力隊OB・OG等を対象として、授業で開発教育を行うためにワークショップの体験や実演、先駆的な取り組みの紹介、開発教育の概念説明などを行います。いずれも内容は、国際理解教育・開発教育の授業での実践を目的として、ワークショップの体験・実演、先駆的な取り組みの紹介、開発教育の概要説明等です。

### 開発教育実践講座(入門編・初級者編)

実施時期:年4回

講師:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教諭、教育委員会職員、自治体職員、NGO・NPO職員、青年海外協力隊OB・OG等

実施場所:静岡市、名古屋市、岐阜市、津市(平成15年度)

参加者:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員

### 開発教育指導者研修(中級者編)

実施時期:年1回(1泊2日×3回:平成15年度)

※開発指導者研修は、1泊2日の3回シリーズで行います。

実施場所:名古屋市

参加者:国際理解教育・開発教育に関心のある中部4県の小・中・高校教師、教育委員会職員



先生方も真剣に講座を受講中!

## ■■■JICA 中部をのぞいてみませんか? ■■■

### ♪高校生国際協力実体験プログラム

JICA 中部では毎年夏休み期間を利用して「高校生国際協力実体験プログラム」を実施しています。

平成15年度は8月25日～27日の2泊3日の日程で東海・北陸地方の各県から8校40名の高校生と引率教師がJICA 中部に宿泊し、世界の料理試食体験、研修員との懇親会、国際理解をテーマとしたゲーム、ケーススタディ、研修コースの見学など行っています。

実施時期・期間:毎年夏休みに2泊3日

実施場所:当センター

参加校:東海北陸地域の7県から募集。(1県1校が原則)

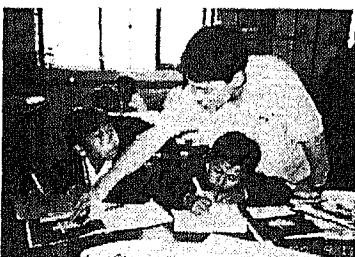
1校につき生徒男女2名ずつ、引率教師1名の計5名7校35名を募集

参加費用:無料(JICA 中部への往復費用も当センターが負担します)



初めての手づかみ食事体験!

### ♪パネル・ビデオの貸し出し



このようなパネルがあります

JICA 中部では国際理解教育・開発教育の授業での使用や、一般の人々にも利用していただけるよう、広報用のビデオ・パネルの貸し出しサービスを行っています。

パネル:東海4県出身の青年海外協力隊、シニア海外ボランティアなど各種ボランティアの方々の活動の様子を写した写真パネル、開発途上国の情景を伝える写真パネル等

ビデオ:各種ボランティアやJICA事業の活動紹介

↓最新のリストはこちらのホームページをご覧ください。

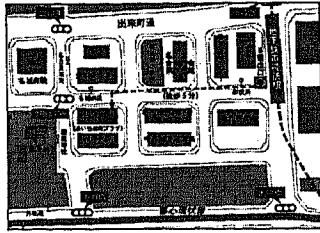
[http://www.jica.go.jp/branch/cbic/jigyoku/kaihatsu/rental\\_list.html](http://www.jica.go.jp/branch/cbic/jigyoku/kaihatsu/rental_list.html)

■■■■お問合せ先■■■■

♪東海4県のJICAの窓口

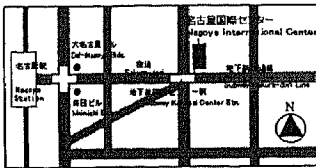
東海地方の各県に、より身近なJICAの窓口“国際協力推進員”が配置されています。お気軽にお問合せください。

愛知県の方は・・・



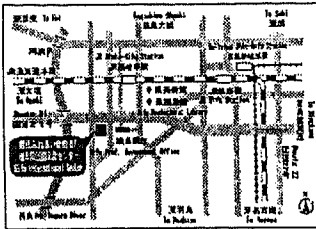
(財)愛知県国際交流協会内 JICA 国際協力推進員 秋田のぶ子(あきた のぶこ)  
〒460-0001 名古屋中区三の丸 2-6-1  
愛知県三の丸庁舎内(地下鉄名城線市役所駅より徒歩5分)  
TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045  
メール: jicadpd-desk-aichiken@jica.go.jp

または



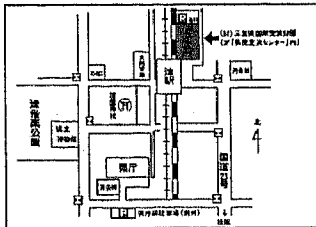
(財)名古屋国際センター内 JICA 国際協力推進員 藤原久道(ふじわら ひさみち)  
〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1  
(名古屋駅から東へ徒歩7分、または地下鉄桜通線国際センター駅で下車)  
TEL: 052-581-5691 FAX: 052-581-5629  
メール: jicadpd-desk-nagoyashi@jica.go.jp

岐阜県の方は・・・



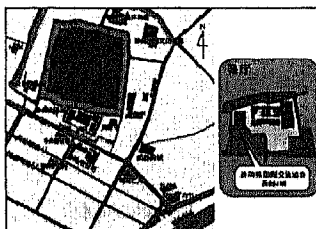
(財)岐阜県国際交流センター内 JICA 国際協力推進員 古田敦子(ふるた あつこ)  
〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-5 岐阜県県民ふれあい会館 6階  
(西岐阜駅から無料バス)  
TEL: 058-276-4459 FAX: 058-272-8839  
メール: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

三重県の方は・・・



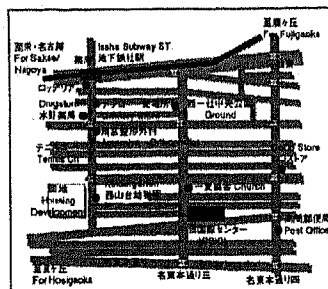
(財)三重県国際交流財団内 JICA 国際協力推進員 池田幸代(いけだ さちよ)  
〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 3階(津駅東口すぐ)  
TEL: 059-223-5006 FAX: 059-223-5007  
メール: jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

静岡県の方は・・・



(財)静岡県国際交流協会内 JICA 国際協力推進員 甲斐尚子(かい ひさこ)  
〒420-8601 追手町 9-6 静岡県庁西館 4階(静岡駅より徒歩10分)  
TEL: 054-221-3355 FAX: 054-251-8148  
メール: jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp

♪東海4県の総合窓口 —JICA 中部—



〒465-0095 愛知県名古屋市名東区亀の井 2-73 (地下鉄東山線 一社駅より徒歩10分)  
独立行政法人国際協力機構 中部国際センター(JICA 中部) 業務課 国民・市民参加推進班  
TEL: 052-702-1391 FAX: 052-702-1390  
メール: jicacbica@jica.go.jp  
ホームページアドレス: <http://www.jica.go.jp/worldmap/toukai.html#chubu>

13306

